

毛髪・唾液を活用したホルモンの定量測定技術

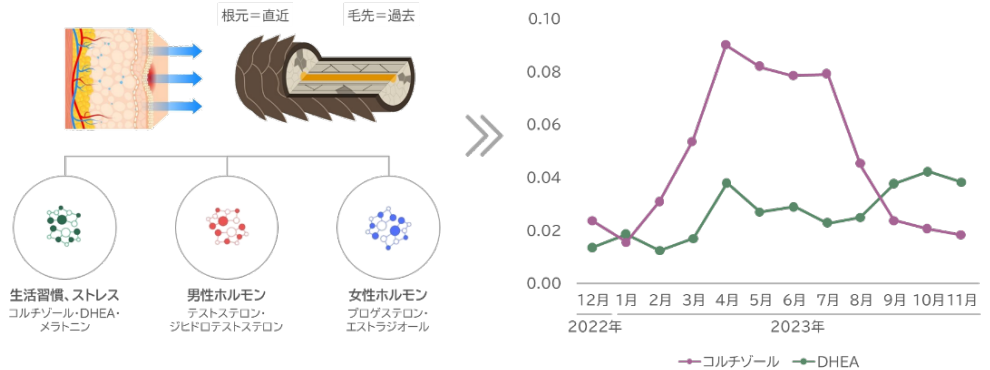
自社のコア技術と強み、アピールポイント

■ 当社の技術は、心と体の“状態の見える化”に活用されています

- ・唾液や毛髪に含まれる微量のホルモンを分析し、ストレスや生活習慣が心身に与える影響を客観的に把握できます。毛髪は1か月など長期の状態、唾液は短時間の変化を反映するため、利用者は自分のコンディションの傾向を具体的に理解できます。

■ 当社の技術の特徴

- ・唾液や毛髪には、ストレスや睡眠、生活リズムに関わるホルモンが含まれています。コルチゾール・DHEA・メラトニンなどのストレス関連ホルモンに加え、男女ホルモンも測定可能です。
- ・これにより、働き方の見直しや休息の質の改善、健康管理の指標づくりなど、利用者の行動変容につながる情報を提供できます。



自社技術の適用例

■ 健康経営の支援

- ・長く健康で働き続けられる職場づくりを科学的に支えます(働き方改革、メンタル不調の予防)
- ・従業員の健康管理意識の改善と間接的に生産性の向上に貢献します

■ 研究開発の支援事例

- ・関西電力株式会社様

「緑化休憩室の活用が主観的・客観的なストレス指標に及ぼす影響評価」として、第36回日本ストレス学会学術総会にて発表

- ・株式会社長谷工コーポレーション様

「バーチャル森林浴のリラックス効果の検証」として、共同研究、共同リリース

- ・有限会社藤井牧場様

「牧場の寝材の違いがストレス指標に及ぼす影響」として、共同研究、日本畜産学会第132回大会にて発表

株式会社イヴケア